



■ H P ■ <http://www.edogawaku.ed.jp/shinozakis/>
■ 携帯 ■ <http://www.edogawaku.ed.jp/shinozakis/keitai/top.htm>

しのざき

令和7年3月25日
3月最終号
江戸川区立篠崎小学校
校長 佐藤 美緒



3月24日 卒業式

感謝

校長 佐藤 美緒

今年度も本校の教育にご理解とご協力を賜りありがとうございました。3月24日には、6年生が立派な態度で卒業式に臨み、巣立っていきました。また、3月25日の修了式でも、1～5年生が体育館や教室で静かに話を聞く態度や代表で修了証をもらう態度、今年度末でこの学校を去る教職員の挨拶を聞き見つめるまなざしに、真剣な姿がありました。篠崎小学校の子供たちは、素直に話を聞いて、人の気持ちを受け止めることができるところが素晴らしいと感じています。子供たちの一年間での成長は様々なところにあらわれています。朝や帰りの教室といった決まった場面だけでなく、廊下や階段で出会ったときにも自分から挨拶ができる子供が増えました。3月25日の帰りに昇降口で見送っていると、「さようなら」だけでなく、「1年間ありがとうございました」と言ってお辞儀をする子供がたくさんいました。豊かな心が育っていることを感じました。ご家庭や地域の支えあってのことと思っております。また、学習においても、基礎学力の定着のために、毎週水曜日の朝学習では隔週で、学習タブレットを使って算数の東京都ベーシックドリルに取り組みました。1学期の始めに、2年生以上で行ったCDTテストの結果から一人一人の得意な領域と苦手な領域を各担任が確認して、その子に応じた領域の問題を指示して練習問題に取り組むようにしました。1学期から3学期へと確実に定着していることがわかりました。診断テストの内容は毎学期違いますが、正答率は確実に向上しました。1学期の問題の正答率と三学期の正答率を比べると、実施した学年では平均すると1学期の正答率が50.2%だったのが3学期では66.3%となりました。どの学年も1学期から3学期では、10ポイント以上の向上が見られています。基礎的な力を着実に身に付けるために、その子に応じた問題を教員が的確に指示して行うことで、苦手なところを少しずつできるようにしていく積み重ねの成果があらわれたことを嬉しく思います。また、算数の授業では、自分の考えをノートやホワイトボードに表し互いの考え方を理解する学習を重ねてきました。書写では、子供たちが自分のめあてをつかむ学習を進め、練習を工夫していくことや友達と見合いアドバイスし合うことからめあてを達成する問題解決型の学習方法を身に付けてきました。そして、自分で解決していく学び方を身に付けたことで、次の単元でも、学習の流れを理解してすすめていく姿が見られました。自分のめあてとは異なるめあてをもつ友達をはじめに書いた文字との変化を実感し伝え合うことで学習のめあてを理解していく姿が見られました。学習した文字以外の文字にもいかそうとする姿が見られるようになりました。どの学習においても、一時間の学習の流れを黒板に提示して見通しがもてるようにすることや視覚的な支援を行うことを大事にしましたが、子供たちが授業は分かりやすいと評価していることも嬉しいことです。子供たちが違いに気付いた瞬間やめあてを解決するためにいっしょうけんめいな場面にたくさん遭うことができ、分かって嬉しい顔を見ることができたことは、ありがたいことです。子供たちと一緒にかけがえのない時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

こちらのQRコードから
学校ホームページをご覧
いただけます。

